

# 1. 本日本日お伝えしたいこと

- 1 国において、整備計画にある「小浜市附近」を経過しない「米原ルート」が調査され、最も投資効果が優れる等「米原ルート」の優位性が確認されたことを評価。
- 2 本県の考え方に変わり無く、開業までの期間が短く、建設費が低廉で、費用対効果に優れる「米原ルート」を推奨。
- 3 人口減少社会を迎えており「早く」「確実」に整備が必要。平成53年(2041年)以降の開業では遅すぎる。他のルートと比較して財源的な優位性があり、前倒し整備に向けた力を生み出すルートを検討すべき。
- 4 北陸新幹線整備は重要な国家プロジェクトであるとともに多額の投資が必要。あらゆる可能性を検証し、広く国民的な議論も踏まえ、ルートを決定すべき。
- 5 国家全体の便益 / 費用を最適化できないルートは同意できない。国で最終的に決定したルートが、仮に地域における利益と相反する場合、国が責任を持って対処すること。